

視力低下やまぶしさを感じたら眼科へ



白内障のおはなし

白内障は、眼の中の水晶体と言うカメラで例えるとレンズに相当する部分が混濁してくることを言います。カメラのレンズが汚れると写真が奇麗に写らないのと同じように、水晶体が混濁してくると、視力低下や羞明(まぶしさ)等を来します。

治療方法

主に手術となります。

手術を必要とする程でない時は、点眼薬で様子をみます。

(ただし、点眼薬では視力を回復させる程の効果はなく、白内障の進行を遅らせるのが目的です。)

Q どのような症状になったら手術を行うのでしょうか？



A 外来で良く質問されますが、実際は手術の適応を決める明確な基準はありません。よって、以下のことは個人的な意見となりますが、車を運転されている方は、両眼の矯正視力(眼鏡などで、レンズの度をしっかり合わせて見た時の視力)が、0.7以下になるようなら、社会的責任で手術を受けるべきかと思えます。しかし車を運転しない人は、視力が0.6以下であっても生活面で不自由を感じていなければ、必ずしも手術を受ける必要はありません。また視力が1.0以上見えている人でも、白内障によってまぶしく見えたり視界全体が白っぽく見えたりしてしまう方では、思い切って手術を受けてみると視力は1.0のままであっても見え方の質が改善され、スッキリ見えるようになったと喜ばれる方もいます。よって、手術の適応を決めるのは、本人の希望の有無が最重要と考えます。

Q 手術を受ける際の重要なポイントは？



A 白内障の症状と手術の効果を良く理解しておくことだと思います。これは、術後の満足度を上げるのに重要なポイントと考えています。

1例として「遠視や近視による裸眼視力の低下」≠「白内障による矯正視力の低下」

遠視や近視が原因であれば、裸眼視力が低下しても矯正視力は低下していないので、度の合った眼鏡を掛ければ良く見えて手術の必要はありません。そして白内障手術を受ける場合は、裸眼視力の回復を目的とするのではなく低下した矯正視力を回復させる事が目的となります。

Q 白内障手術をしても眼鏡は必要ですか？



A 白内障手術にも遠視や近視をある程度調節する要素が含まれているので、人によっては術後に裸眼視力が良くなって眼鏡が不要になる方もいます。しかし基本的には、白内障術後は遠用と近用の両方の眼鏡が必要になります。眼鏡をかけていなかった人が白内障手術を受けることで眼鏡が必要になることもあります。よって、白内障術後に矯正視力は改善したにもかかわらず、裸眼視力が低下する事は充分あり得ることです。裸眼視力を回復させる為には、遠視や近視、乱視を治す必要がありますが、そのような手術は屈折矯正手術と呼ばれ、「レーシック」などが有名です。



このようなことを理解しないまま手術を受けて、術後に不満を感じてしまう方もいます。自分が白内障かな？と思った時には、早目に眼科専門医の診察を受けて、正確な説明を受けることをお勧めします。



眼科部長
尾羽澤 実

財団法人日本眼科学会認定眼科専門医
東海大学1994年卒業、医学博士

ご予約方法

電話予約 **04-7123-5901**

月曜日～土曜日 9:00～16:00 ただし、祝日および病院指定休診日を除く


kikkoman

キッコマン総合病院

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100
電話04(7123)5911(代) FAX 04(7123)5920
<http://hospital.kikkoman.co.jp/>